

山口調理製菓専門学校長 須内章雅
Sunouchi Akimasa

○ 鉄道の日

過ぎてしまいましたが、10月14日は鉄道の日でした。今年は新暦1872年10月14日に新橋横浜間の鉄道が開通してから150周年ということです。テレビでもありとあらゆる角度から取り上げた番組が制作され、放映されています。私も今年は列車通勤をしていますので、関心が高いです。小学校の頃までは蒸気機関車が普通に走っていました。その情景はよく覚えています。通っていた小学校は山陽本線のすぐそばにありましたので、SLが走ると煙がグラウンドと校舎の方に流れて来ます。その煙は黒いというよりも白い印象の方が強いので不完全ではなくよく燃焼していたのでしょう。私は特別に関心があったわけではありませんが、SLは好きでした。よく絵に描いたものです。後ほど紹介する機関車は想像で描きました。50年以上経過していますが、描けるものですね。最後に特別な思いで描くのは煙突から出る煙です。環境汚染という意識は当時ありませんでしたからその力強さに惚れていました。

鉄道についての思い出をたぐってみると結構多くの話題が出てきます。今回は個人的な思い出話になりそうです。次に取り上げるのは新幹線です。高校時代まで山陽新幹線は岡山止まりでした。そのためか関東方面への高校修学旅行は夜行の急行列車に乗りました。寝台列車ではありません。通常の堅い座席です。真夜中に静岡あたりを走っているときは体が痛くなりました。足を伸ばして寝たいのですがそのスペースはありません。ある人は新聞紙を敷いて堅い床で寝ています。ある人は荷物置き用の網棚に上って寝ていました。よく落ちなかったものです。富士山の雄姿も見ることができませんでした。東京駅に着いた頃には皆疲れ切っていました。博多まで開通したのはその2年後です。その後季節ごとぐらゐに乗車しましたが、広島から新大阪までは必ず立っていました。いつも満員という印象でした。

本校と関わりがある点で言えば食堂車ですね。子どものころ美味しそうな料理を食べている映像を見るたびに「早く大人になってあの食堂車で食事をしたい。」と憧れていました。その大人になり行政関係で働くようになると1・2年に1回くらい関東地方への出張があり、「さあ食堂車へ行こう！」とむかいましたがありません。廃止になってしまっていました。残念でした。列車内の厨房での調理は揺れるため気を遣っていただろうと想像します。特に火や熱湯、油などはこぼれたら大変です。

寝台列車はまだ運行していました。“旅”を感じる列車ですね。私の娘たちと一緒に乗ったのが最後くらいでしょう。特別車両を除いては食堂車や寝台車がなくなってしまったのはさみしい限りです。寝台列車は楽しい思い出が多いですが、一つ違う出来事もありました。ある年の夕方、出張のため駅でその電車を待っていましたが、なかなか来ません。何らかの原因で遅れているようです。ようやく到着し、乗車して席に着くと向かい側の男性が「すごいことがあった。」と私に話し始められました。この列車が下関駅に停まっているときちょうどあの出来事(事件)が目前のホームであったそうです。この事件についての記述はしませんが、生々しい記憶として残っています。

そういえば♪～走り始めた汽車に一人飛び乗った～♪という歌詞の歌がありました。それほど昔の歌ではありませんが、今はこの歌詞の内容に疑問を感じる人の方が多いのでしょうかね。

○ 自校自賛

裏に列車の絵があります。↓

今回のメニュー : 甘鯛の鱗焼き 渡り蟹の甲羅蕪蒸し(日本料理)

鱗焼きは香ばしく、カリカリといただきました。

講師の担当授業によっては、次の勤務が数ヶ月後という方もいらっしゃると思います。見逃してしまって残念!ということもよくあります。今後とも可能な限りできるだけ多くメニューの紹介をしていきたいと思っております。

今回の植物 : お休み





EXE α



蒸気機関車 (汽車) 想像



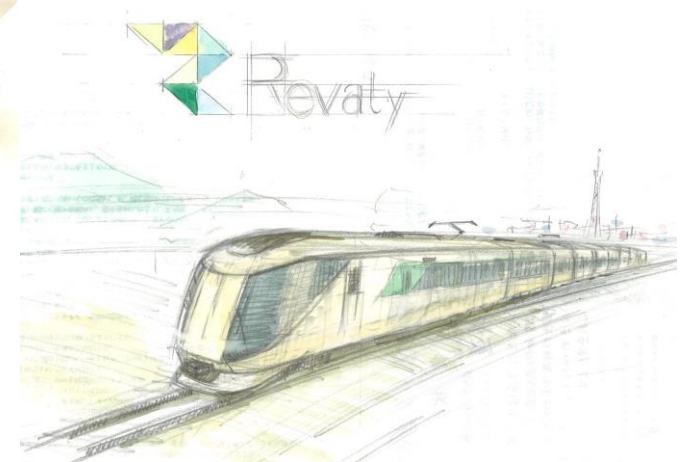
あかつき



HOKUTO



あさかぜ



Revaty